

オナガ

ハトより少し小さい、尾の長い鳥です。カラスの仲間ですが、全身が灰色で、翼と尾がうすい青、頭が黒の姿が美しい鳥です。しかし、声は「ゲーゲー…」「ゲーイ、ゲーイ…」と濁っていて決して美しいとは言えません。

農山村、市街地などで生活しています。かつては、関東から北に分布していましたが、今では、関東から西に分布を広げてきています。おおよそ、太平洋側の静岡県から日本海側の福井県の線まで広がってきています。昆虫や木の実を食べるほか、鳥の卵やヒナを捕ったりすることもあります。巣は、木の枝の上に作られ、枯れ枝を材料にして浅いお椀の形をしています。

冬季は、集団で生活し餌を求めて数羽から十数羽で移動する姿をよく見ます。一定の範囲の中で生活しているため、毎日、同じコースを巡回しているのではないかと考える人もいます。



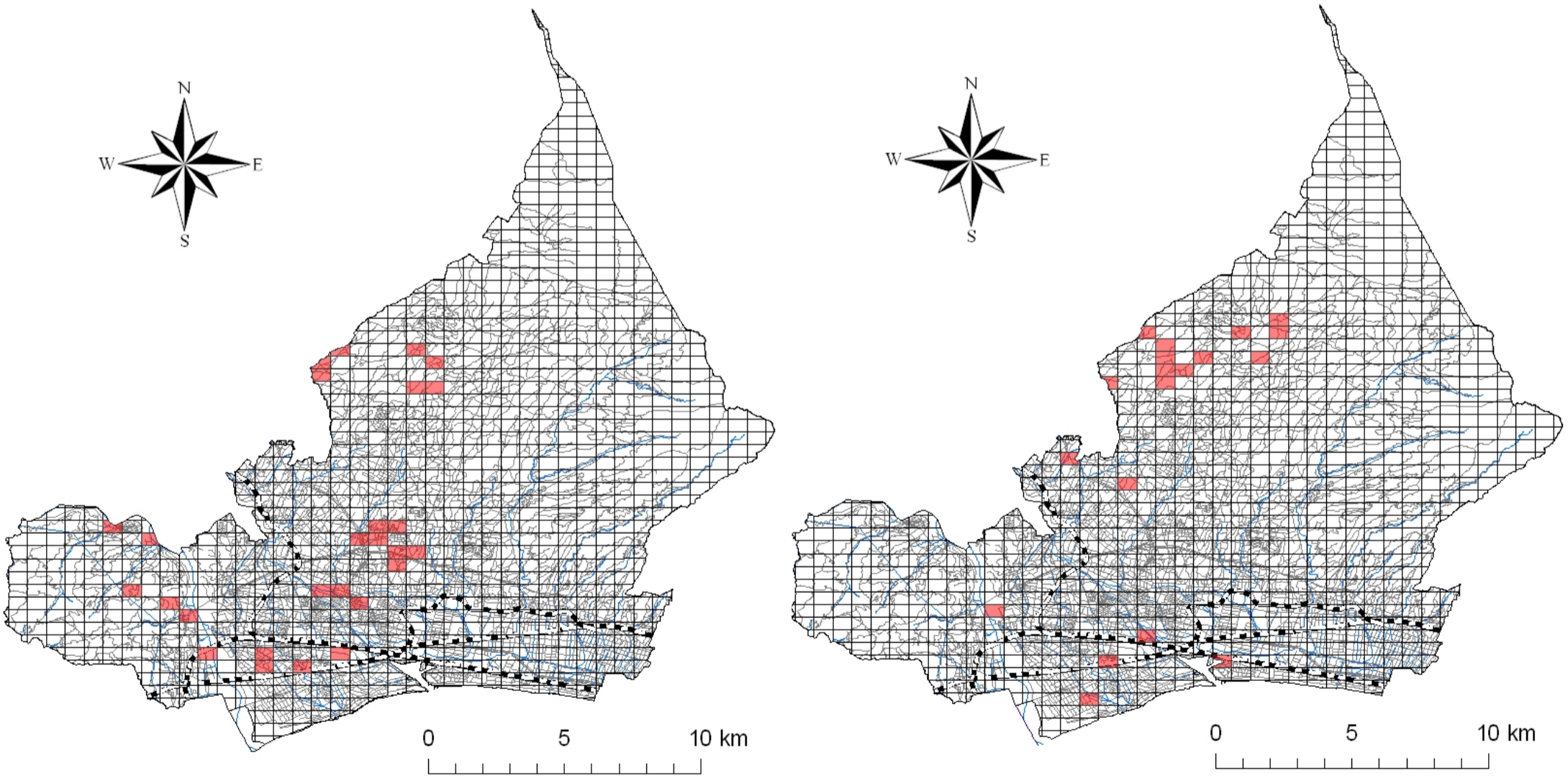
富士市の現状

20年ほど前には、この鳥を見ることは少なく生息する場所も限られていました。現在は、海岸線の松林から、大淵地区までの広い範囲で見られるようになりました。徐々にですが、数を増やしているようです。

オナガを確認したメッシュ

夏

冬



※ 平成18年より調査しているため、日本測地系の2分の1標準地域メッシュを使用しています。